

# 川崎から **STOP** 地球温暖化

かわさき地球温暖化対策推進協議会ニュース

Vol.7 2008年11月17日発行

〒210-0005 川崎市川崎区東田町3-25 アクト川崎 メール act-kawasaki-jm@nifty.com

<http://www.web-k.jp/actkawasaki/index.html>



エコロジーでエコノミー  
エコちゃんず

## 県・横浜・川崎三首長地球温暖化防止表彰を受賞

### かわさき市民共同発電所プロジェクト、モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合



左:受賞団体のみなさんと三首長  
右:モトスミ・ブレーメン通り商店街のみなさんと  
かわさき市民共同発電所プロジェクトメンバー

平成20年10月23日、メルパルクYOKOHAMAにおいて、神奈川県知事・横浜市長・川崎市長の三首長連名で、地球温暖化防止に貢献した団体への表彰式が行われました。

川崎市からは、「かわさき市民共同発電所プロジェクト」と「モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合」が受賞しました。

この表彰は、昨年行われた三首長懇談会において、阿部川崎市長から、「がんばって温暖化対策に取り組んでいる県内の団体・企業を三首長がそろって応援し、その活動を広く知らしめるために三首長連名で環境表彰を実施しよう」との提案があり、実現したものです。

かわさき市民共同発電所は、「市民協働の新しいモデル」を提案し、430件の寄付による川崎市国際交流センターへの太陽光パネル設置が評価されました。また、モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合は地元小学生と市民協働による「1店1エコ」運動が評価されました。

この他の表彰団体は、神奈川県立平塚高等学校（必修科目に「地球環境化学」を設置し人材育成）、劇団四季（稽古場に275kWの太陽光パネルを設置）、三菱重工業㈱（廃棄物の分別・リサイクルを徹底など）、武蔵工業大学環境情報学部（横浜市の「子ども省エネ大作戦」に協力など）でした。

なお、同時に開催された三首長懇談会では、川崎市長から「新エネルギーの導入・促進及び技術力を活用した環境対策の推進」について意見表明がありました。

## 市国際交流センターに川崎初の市民共同おひさま発電所が完成！



プロムナード上部に設置した太陽光パネル



プロムナードから太陽光パネルが見えます

市民共同発電所プロジェクトは、第1号の市民共同おひさま発電所を各国の人々の集う川崎市国際交流センターに設置しました。国際交流センターに来館された誰もが行き交うプロムナードの天窓と屋上（陸屋根部分）の2か所に太陽光発電設備を設置、合計出力は6.25kWです。エントランスホールには、太陽光発電の稼働状況などを伝える32インチの表示板モニターや、寄付者のお名前を記載した名板を展示しています。

これらの設置事業費は850万円になりました。資金は、寄付金からの150万円とグリーン電力基金助成金700万円から調達しました。市民、事業者、商店街の皆さまからのご支援で430件1,919,427円の寄付が寄せられました。ありがとうございました。

点灯式関係に支出した残額、約30万円は次の市民共同発電所の設置事業費に繰り越されます。市民共同発電所プロジェクトでは、第2号機への検討を始めたところです。

## 市民共同おひさま発電所 点灯式にぎわう



左：点灯式会場  
 右上：各国の子ども達の参加でLED文字を点灯  
 右下：ホテル精養軒「ソレイユ」で当日販売した「おひさま弁当」

去る8月24日（日）、市民共同おひさま発電所の完成記念イベント「みんなで止めよう！温暖化」が川崎市国際交流センターで開催されました。点灯式をはじめ講演会&パネルディスカッションや、なかはら打ち水大作戦、夏の温暖化対策キャンペーンなど盛りだくさんな企画で賑わいました。点灯式には、地域の方々や寄付して下さった方が駆けつけてくださり、200人近い参加者でレセプションルームはいっぱいになりました。

オープニングのミニコンサートは、世界各国で活躍中の歌手、有里知花さんの優しい歌声に包まれて始まりました。続いて来賓挨拶では、阿部市長の代理として砂田慎治副市長、GIACグリーン電力基金事業推進室の藤城修様、ap bankの見山謙一郎様、川崎市国際交流協会の國安正昭様からお言葉をいただきました。

点灯式カウントダウンは、国際交流センターの特色を活かし各国の子どもたちにも参加してもらい、手作りLED文字をスイッチオン。真っ暗な中に「おめでとう ソーラーはつでん」の文字が光り輝き大成功！大きな拍手と歓声がわき起こりました。エンディングは再び有里知花さんのミニコンサート、市民共同おひさま発電所の完成記念を素敵な音楽とともに多くの人たちといっしょにお祝いしました。ありがとうございました。



## 川崎子ども環境会議開催

10月4日(土)午後1:00~4:00、川崎市国際交流センター特別会議室で、「川崎子ども環境会議」が開催されました。市民部会・グリーンコンシューマーグループ主催、モトスミ・プレーメン通り商店街共催により実施され、中原区内の小学校6校とエコ調査隊からの7つの温暖化防止の取り組みが発表されました。各校の子ども達からは、身近なところから熱心に取り組んだ活動を発表。どれも内容が分かりやすく上手にまとめられていました。その後、質問やお互いの取り組みでやってみたいことなどを意見交換。最後に「子ども環境宣言」にまとめました。

会議には中原区畠山区長、環境局地球環境推進室牧室長、中原区校長会荒井校長が出席し、講評では、子ども達の発表の質が高く、どれも素晴らしいと絶賛の言葉をいただきました。今後は、子ども達からのメッセージと充実した会議の内容を広く発信していきたいと思えます。(グリーンコンシューマーグループ)

私たちから発信！

川崎子ども環境会議 **環境宣言** (前文)

今と未来の私たちの環境をよくするために、私たちが取り組んでいる一人ひとりのエコ活動を広げて地球環境をよくし、ストップ！地球温暖化に取り組みます。

みんなが協力して、平和な世界にしていきたいです。

2008年10月4日

川崎子ども環境会議 参加者一同



## 夏休みエコライフチャレンジに市内小学生1000名が参加！

市民部会・省エネグループが進めている今年4回目の「夏休みエコライフチャレンジ」に市内29校の小学5年生約1000名が参加しました。2週間省エネを実行して、「地球を救えることができよかった」など、多数の感想文も寄せられています。

また、そのうち600人の児童の家庭が、「家族みんなでCO2削減にチャレンジ」の運動に引き続き参加しました。子ども達の熱意が地球温暖化防止に役立つものと信じています。(省エネグループ)

## エコちゃんずカード実験始まる！

NPO法人アクト川崎は、市民と販売店の協力により、地球温暖化防止活動の推進を目的として、「エコちゃんずカード」のモデル事業を始めました。(10月~11月末に実施)

市民は、買い物の際に、簡易包装に協力したり、省エネへの関心を示すなどにより、記念品やクーポン券がもらえます。そして、家庭でのエコライフ実践のきっかけになることが期待されます。販売店は、3回の来店を通じて、省エネ商品のPRや店のイメージアップが期待できます。

参加店は、ヨドバシカメラ川崎ルフロン店、ベスト電器溝口長崎屋店、和菓子の桔梗屋(中原区)、水月堂(中原区)、新岩城(幸区)の5店。

成果を見て、今後、環境省の進めるエコ・アクション・ポイント運動を参考に、市内の多様な事業者が参加できる活動を検討していく方針です。



ポスター(和菓子店用)



## 川崎市内事業者の環境への取り組み その7

### 日本電気株式会社 玉川事業場

弊社はNECグループ全体で「製品の省エネ化、ITソリューションの提供を通じて、お客様、社会のCO2排出量を削減し、2010年にCO2排出“実質ゼロ”を目指した環境長期ビジョンを掲げて取り組んでいます。当玉川事業場でもモバイル、半導体、ディスプレイ、ソフトウェア等の製品開発及び研究開発基地として環境配慮型製品や地球温暖化対策としてのCO2削減対策の展開を図ると共に、地域コミュニケーションを推進しております。

1936年の事業場操業より緑地や丸池等を有し、環境保全に努め近隣の方々に親しまれてきましたが、2000年よりECOLOGICAL & TECHNOLOGYをテーマとした26階建てのNEC玉川ルネッサンスシティS棟を建設、2005年には37階建てN棟を完成。環境に配慮したエコロジビルとして「地球環境大賞」などさまざまな環境関連の賞を頂きました。また敷地の約65%を一般公開空地として近隣住民の方々に憩いの場を提供しております。

省エネ活動の推進では、当事業場は関係会社、協力会社を含めて1万数千人を有する従業員が働く『場』として、横断的に展開する必要より、「玉川地区省エネ

ルギー対策委員会」を設置、組織的な省エネ活動を推進しています。事業動向の変動や人員統廃合による増加等環境は厳しいのですが、省エネ目標を達成すべく各種高効率省エネ機器の導入や運用管理、従業員への啓発教育など色々な施策を展開し活動を展開しております。

毎年開催されています川崎市関連の省エネ展示会「かわさき発！ストップ温暖化展」など地域イベントには参加させて頂き当社活動や事業場省エネ状況など積極的にご紹介させて頂いております。また、かわさきコンパクトのビジネスコンパクトにも登録し活動の裾野を広げております。



### 川崎市臨海部に2万kWのメガソーラー発電の設置へ

川崎市と東京電力(株)は、川崎市の浮島地区と扇島地区の2か所において、合計出力約2万kWの太陽光発電を建設する計画を協働で進めてゆくことを、10月20日に発表しました。

本計画は、平成23年度の運転開始を目指し、川崎市が太陽光発電所の一部土地の提供をはじめ、太陽光発電の普及啓発(太陽光発電所PR施設を設置)を推進し、東京電力は電力の供給設備としての太陽光発電所の建設、運営を担うものです。

### 連載/うちエコ宣言/その4



我が家のエコは無理なくできることから始めようと家族で協力し合っています。

大分以前から、照明は白熱電球をやめて蛍光灯に替えました。リビングの窓はペアガラスにして、暖冷房エネルギーの軽減を図っています。それからリビング以外の寝室、子ども室にはエアコンがありません。夏は就寝時1時間ほどタイマーで扇風機を回して過ごしています。今年の冬からは暖房エネルギー削減のため、部屋全体を暖める時間を減らし、必要なときに必要なところだけ暖める工夫をしたいと思います。昔を思い出しコタツや湯たんぽを復活させ、併用することも良いかなと考えています。

八木 洋一

発行 かわさき地球温暖化対策推進協議会  
 編集 NPO法人アクト川崎  
 発行日 2008年11月17日 vol.7  
 連絡先 〒210-8577 川崎市環境局地球環境推進室  
 TEL 044-200-2514 FAX 044-200-3921

